

2022. 4. 25

<配信枚数2枚>

報道関係者 各位

大学院生が最新の研究成果を発信

BKC ライスボールセミナーのご案内

開催日：2022年4月26日（火）、5月10日（火）、24日（火）、6月7日（火）、21日（火）

立命館大学は、大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、昼食の時間に軽食をとりながら、参加者と自由にディスカッションを楽しむ、「BKC ライスボールセミナー」をオンラインで開催いたします。

ライスボールセミナーは、2007年に教職員の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者育成の取り組みの一環として、年間を通して定期的で開催しています。

各テーマに興味がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力を知りたい方のご参加をお待ちしております。

記

(1)「本物の音体験を造る」

日時：2022年4月26日（火） 12:20～12:50

(2)「紙より薄いスマホ」

日時：2022年5月10日（火） 12:20～12:50

(3)「波を乗り越なすロボット」

日時：2022年5月24日（火） 12:20～12:50

(4)「見えないものを見る」

日時：2022年6月7日（火） 12:20～12:50

(5)「再生エネルギーを操る」

日時：2022年6月21日（火） 12:20～12:50

※詳細は別紙をご覧ください。

会 場：オンライン (Zoom ウェビナー)

対 象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料、事前申し込み制 ※当日参加可能

参加方法：下記 URL より、参加登録のうえご参加ください。

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/events/detail/?id=1131>共 催：立命館大学総合科学研究機構、立命館大学 BKC 社系研究機構、
立命館グローバル・イノベーション研究機構

以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局 担当：王

TEL. 077-561-2802

別紙

<ライスボールセミナー内容>

(1)「本物の音体験を造る」身の回りのあらゆる音を自在に生成可能とする環境音合成の研究

研究紹介：本研究は、環境音や効果音をAI技術により人工的に合成する研究です。環境音合成技術の実現により、誰でも自在に所望の音を作成することができるようになり、アニメや映画といったメディアコンテンツに使用する効果音の自動生成などへの応用が期待できます。

登壇者：情報理工学研究科 岡本 悠希【専門:音信号情報処理】

(2)「紙より薄いスマホ」変幻自在な分子を創る

研究紹介：センサーやスイッチなどの認識・制御する仕組みは重要であり、まわりのいたるところで利用されています。今回、外部の刺激を認識し、色彩などを変化させる分子センサーの研究について紹介します。

登壇者：生命科学研究科 杉浦 慎哉【専門:超分子科学】

(3)「波を乗り越なすロボット」水上を自由に動かしこいロボットによる水環境観測

研究紹介：本研究では、波や風などの不規則な外乱が存在する水上環境で、同じ位置を保ちながら水質観測をするロボットについて研究しています。現在は、複数の定点維持戦略を提案し、シミュレーションと実環境の両方で効率的な定点維持戦略について検証しています。

登壇者：情報理工学研究科 藤井 康之【専門:水上ロボット・水質観測】

(4)「見えないものを見る」深層学習と可視化技術で現実世界を理解する

研究紹介：現実世界の複雑構造を持っている物体に対して、可視化技術を用いて仮想空間で再現できます。その複雑な構造をより良く分析するために、深層学習技術を用いて、視認性を向上します。

登壇者：情報理工学研究科 LI WEITE【専門:深層学習・3次元計測】

(5)「再生エネルギーを操る」制御工学で未来の電力ネットワークを操る

研究紹介：各戸が電力を融通し合う未来の電力ネットワークを想定し、それを操る方法を制御工学に基づいて研究しています。博士後期課程では、クラウドを介して「登場人物」がバラバラなタイミングで情報交換をしても、全体が協調する手法を検討しています。

登壇者：理工学研究科 難波 巧【専門:制御工学】